

「第7回全日本小中学生ダンスコンクール西日本大会」で金賞、全国大会に出場し銀賞を受賞した弘道ダンスサークル「ヒボッコ」。その講師を務めるのが斉藤ゆうこさんです。

主に出石地域の小・中学生25人のメンバーに、弘道小学校体育館で週1〜2回レッスンをしています。養父市出身の斉藤さん。大学時代からダンスを始め、東京でダンスインストラクターとして活躍していました。自然こそ最高の芸術という信念の下、原風景のある地で過ごしたいと思

い、札幌出身の夫と共に、以前から良い印象を持っていた出石地域で生活を始めます。保育園のPTAで園児に向けてダンスを披露したことをきっかけにサークルができ、出石藩きもの祭りや出石土曜夜市に参加することでメンバーが増えていきました。次の賞に向けた意気込みを聞くと「子どもたちには本物を見たり、いろんな体験をして欲しい。賞ではなく、広い世界を感じてもらうことが目的です」と笑って答えてくれました。



## 弘道ダンスサークル「ヒボッコ」

講師 斉藤ゆうこさん(出石町町分)



# Toyooka Topics —とよおかの“旬”な人と話題—



▲警察官、駅員、消防署員が協力し傷病者を救護

## 関係機関が連携強化

### 城崎温泉駅で爆破テロ対応訓練

10月29日、JR城崎温泉駅で爆破テロによる災害対応訓練が行われました。訓練は、4番ホームに置いてあったバッグが爆発し多数の傷病者が発生したという想定で行われ、駅員、警察官、消防署員など約40人が参加しました。

爆発音の後に「助けてくれ〜!」という声が響く中、駅員が警察に通報し傷病者を救護。警察官が改札の外で不審者を確保し、ホームでは消防署員が傷病者の治療と搬送の優先順位を判断するトリアージ訓練などを行いました。JR、警察、消防が連携強化を図りました。宿院匠士駅長は「来年は東京オリンピックの年。今後もさまざまな事象を想定し連携した訓練が重要です」と話しました。

## 全国フットパスの集いin但馬

### 歩くことを通して人と人との交流

10月26・27日、全国フットパスの集い2019in但馬が開催され、市内では城崎温泉街や神鍋高原など6コースで、現地を歩き、地元の食材の料理を楽しむフットパスウォークが行われました。

27日には「心なごむ田園風景と里山おにぎりコース」と題して、高橋地区コミュニティセンターから約30人が出発。地元の方から道中の神社やさるすべり花街道、畦畔アートなどを解説してもらいながら、旧京街道や田んぼの中を散策しました。

初めて本市を訪れた五十崎恭平さん(東京都町田市)は「景色の色がはっきりしている。地元の方との交流も楽しかった」と満足そうでした。



▲初めての方とも弾む会話